年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：２０２２年4月14日
● 事　業　名　：移民２世・３世のキャリア形成に向けた青少年未来創造事業――「多文化・多世代共創拠点」を目指して
● 資金分配団体　：公益財団法人日本国際交流センター
● 実 行 団 体　：特定非営利活動法人 ABC ジャパン
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　☐無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
1-1　先輩・後輩の交流企画	①参加人数 ②開催数	①1 回につき 20 人以上 ②年 2 回	2023 年 3 月	①コロナ対策のため人数を絞って実施。１回につき 11 人程度 ②鶴見・川崎で年 2 回ずつ開催	3
2-1　共生・共育多文化フォーラム	①参加人数 ②参加者の所属先の数 ③開催数	①1 回につき 100 人程度 ②15 機関 ③年 1 回以上	2023 年 3 月	①コロナのためオンライン開催。参加申し込み 61 人（うち、当日参加者数 42 人）	3

				②約 30 機関（団体、自治体、大学、中学高校、日本語学校等） ③年 1 回実施	
3-1　日本人との交流会	①参加人数 ②参加者の所属先の数 ③参加者の出身国の数 ④実施回数	①1 回につき日本人 15 人程度、外国につながる市民 15 人程度 ②10 機関 ③5 ヶ国以上 ④年 2 回	2023 年 3 月	①第 1 回会合はライブ参加視聴者 82 人、第 2 回のオンライン多文化お茶会参加者は、日本人・外国人それぞれ 10 人程度 ②第 1 回：約 50 機関、第 2 回：10 機関 ③ 5 ヶ国以上（ブラジル、ペルー、ネパール、中国、日本） ④年 2 回実施	2
3-2　母語・母文化を学ぶエンパワメント教室（オンライン）	①参加人数 ②教室開催数 ③対象地域数	①ブラジル講座で 1 回 30 人程度、中国講座で 1 回 5 人程度 ②ブラジル講座で 100 回、中国講座で 35 回 ③8 地域以上	2023 年 3 月	①ブラジル講座 1 回 25 人程度、中国講座 1 回 ４人程度 ②ブラジル講座 88 回、中国講座 45 回 ③ 8 地域（神奈川、埼玉、静岡、長野、愛知、	2

				石川、兵庫、三重）	
4-1　青少年対象のキャリア形成のための日本語教室（対面・オンライン）	①参加人数 ②教室開催数 ③対象地域数	①1 回につき 25 人程度（対面）／80 人程度（オンライン） ②230 回 ③10 地域以上	2023 年 3 月	①1 回につき 15 人程度（対面）／65 人程度（オンライン） ②291 回（対面教室：177 回、オンライン教室：114 回） ③10 地域以上（神奈川、茨城、群馬、静岡、愛知、岐阜、三重、滋賀、福井、長野、島根、鳥取、大阪、東京、千葉、山梨、兵庫、栃木など日本全国、及びブラジル）	2
5-1　青少年のための心理カウンセリング（対面・オンライン）	①相談件数 ②相談を受けた生徒数 ③対象地域数	①100 回 ②50 人 ③5 地域以上	2023 年 3 月	①132 回 ②37 人 ③4 地域（神奈川、埼玉、千葉、東京）	2
6-1　外国につながる高校生・若者キャリア相談会	①参加人数 ②キャリア相談会参加機関数 ③参加機関の領域・分野数	①1 回につき 100 人程度 ②1 回につき 7 機関 ③7 領域・分野 ④5 件以上	2023 年 3 月	①コロナ感染拡大防止のため人数制限をして実施。参加人数 55 人 ②5 機関 ③5 領域・分野（職業訓	2

	④マッチング数			練校、県立短大、通信事業、生活総合支援サービス、福祉事業経営者会） ④0 件	
6-2　WEB 教室	①参加人数 ②対象地域数（都道府県及び海外）	①1 講座につき 60 人程度 ②国内：7 地域以上、海外：3 ヶ国以上	2023 年 2 月	2022 年度よりスタート	4
7-1　多文化・多世代協働拠点	①連携相談件数 ②連携事業件数	①1 年につき相談 20 件 ②事業 3 件程度	2023 年 3 月	①相談 15 件 ①事業 2 件	3
8-1　外国人家庭対象のフードパントリー	配布件数	1 か月につき 30 件程度	2021 年 3 月	1 か月につき 35 件程度	1

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
①先輩・後輩交流 外国ルーツ青少年が自己肯定力を向上させ、自己対処力を習得できるように、ロールモデルとなる先輩との交流会や、ルーツの言葉と文化を学ぶ教室、多言語対応のカウンセリング・相談などを実施した。交流会に参加した外国ルーツ青少年は、日常的な日本社会との接点が弱く、進路設計が難しい情報弱者であるが、コロナ禍において、いつも以上に進路を描きづらい状況にある。先輩たちに体験談を聞き、進路選択の相談と情報交換を行ったことで、高校進学に後ろ向きだった中国ルーツの子どもが定時制高校を受験することになったり、進路選択について学校から否定的に言われて委縮していた発達に課題を持つフィリピンルーツの子どもが先輩と出会い、高校の様子がわかったことで、自信をもって自分の想いを学校に伝えて受験に挑み、無事志望校に合格したりという成果も見られた。また、参加した先輩たちも自身の学校生活や来日後の自分を振り返りつつ、己の成長に気付き、高校卒業後の進路設計について考える契機となった。 ②母語・母文化教室 言葉の壁や文化・生活習慣の違いなどにより、自分に自信が持てず、周囲に対し委縮していた中国の子どもたちが、本来持っている能力を引き出すような授業を受けることで、徐々に自信がつき、自分の意思が言えるような積極性が身についてきている。また、ブラジル人の子どもが日本の教育システムに適応できない、ブラジル人であることを理解・受容してもらえないなどの問題を抱えている事例が多いが、ブラジルの文化や言葉を遊ぶことで、自身のルーツを知り、家族や親戚とコミュニケーションが取れ、自信につながる例が見られている。昨年度からブラジル政府主催の継承ポルトガル語オリンピック大会が始まり、当団体は事務局として各国のブラジルコミュニティと連携して、継承語教育の普及に力を入れており、本教室の子どもたちも、オリンピック参加が大きなモチベーションとなってこれまで以上に熱心に取り組んでいる。また、ブラジルの大学の協力を得て、日本に暮らすブラジルルーツの子どもたちのための継承ポルトガル語教材（初級・

中級・教師用指導書）を制作・発行した。
③カウンセリング
保護者や学校教員、支援団体などを通して様々な相談が寄せられた。ブラジルにつながる中学生は、学校でのいじめと外国ルーツである自分への違和感、友人や居場所のなさ、希死念慮といった悩みを抱えており、学校でのいじめは小学校から続いており、“慣れっこ”になっているという表現をしていたが、カウンセリングを通して、対人関係での自己の認知傾向の認識と修正、自己受容などの作業を進めた結果、希死念慮が消え、一度失っていた大人への信頼が取り戻された。担任やスクールカウンセラーを巻き込んで解決に結びつき、専門家によるカウンセリングの重要性が再認識された。
④外国ルーツ青少年のキャリア形成（日本語教室、キャリア相談会）
オンラインと対面による日本語教室、会場開催でのキャリア相談会を実施した。対面の日本語教室では、特に就労や進路選択の壁が厚い非漢字圏の定時制高校生の参加を促すために教室開始を 2 部立てとし、定時制に通うフィリピン生徒が多く集まった。教室は日本語能力試験対策と自学学習の確立を目標とし、試験合格者も確実に増えており、県立産業技術短期大学等への進学につながっている。また、教室には、フリースクール卒業生の中国人学生をスタッフとして採用、良きロールモデルとなっている。こうした若者事業の成果を川崎区役所が認め、川崎市教育文化会館市民活動ルームを教室の場所として無償で借り受けることができた。オンラインによる日本語教室の実施は、コロナウイルスの感染拡大とともに様々な活動が制限されてきた中、通える範囲に日本語教室がない生徒にとって、大変有効なものであると思われる。神奈川、群馬、愛知、岐阜、島根など日本全国、またブラジル、ポルトガルからも地域を問わず各地からの参加が見られた。教室のお蔭で JLPT に合格できたという声も寄せられており、オンライン教室のニーズの高さが窺われる。就職面接での日本語についての質問に対し授業で解説を行い、その後、面接を経て保険会社に採用されたと知らせてくれた受講生もおり、確実な成果が出ている。さらに、日本語が母語でない外国につながる若者が自らの言葉で語り、日本語が話せないために見えにくくなっていた彼らの魅力が発揮できるきっかけになるような作文教材を制作・発行した。
キャリア相談会はコロナ感染拡大のため 8 月から 10 月に延期。日本語力が不十分な生徒も多い中、対面相談会が必要とされているため、感染が少し収まった時期に対面開催を実現。相談会では、多様な民族ルーツの先輩から具体的な体験談を聞いて、自ら進路を考えるきっかけを提供し、具体的に自分で取り組む内容を意識化し、次に公的な支援と就労支援が整っている県立職業訓練校や、大学や専門学校の 1/4 以下の学費で仕事に直結する勉強ができる県立産業技術大学等の教員から話を聞く個別相談コーナーを設け、正規就労に向けた具体的な道

筋を示すことに重点を置いた。また、昨年度参加のフィリピン青年２名は、伴走支援で職業技術校に入校し、１年の就労支援を経て、株式会社に正社員として就職。今年度の相談会には、彼らの友人の非正規労働者のパキスタン青年が参加。友人の正規就労の姿を見て、自分も学び直したいと希望し、現在伴走支援で、雇用保険失業手当をもらいながら技術校に通い、正規就労を目指す方向で頑張っている。相談会企画には、高校の多文化教育コーディネーターも携わっており、学校との連携が進んでいる。

⑤多世代・多文化共創拠点づくりと共生社会の構築

日本人と外国人市民の交流会、共生・共育多文化フォーラム等の事業を行った。交流会の第１回目は、オンラインで「外国につながる支援の必要な子どもへのサポートについての経験談」を共有する機会を設け、愛知、埼玉、東京など各地で外国につながる子どもへの支援活動を行っている外国人・日本人の団体に現場での課題や取り組みについて報告してもらい、支援を必要としている子どもへのよりよいサポートを参加者と共に考えた。開催にあたっては、在東京ブラジル総領事館の全面協力を受け、札幌から沖縄まで全国から申し込みがあり、自治体や国際プラザ、教育委員会、小中学校、大学など様々な場からの参加があった。第２回目は、オンライン「多文化お茶会」として実施。神奈川、茨城、群馬、東京、静岡、沖縄と全国各地から、団体職員、小学校教師、大学教授、国際交流センター通訳、外国人支援センター窓口など様々な職業のブラジル、中国、ネパール、日本の市民が参加し、多様な背景を持つ多様な人たちが共に生きる社会について意見交換を行い、新たなネットワークづくりを行った。

共生・共育多文化フォーラムは、当初鶴見の会場を借りて開催する予定だったが、コロナ感染再拡大により、オンラインで実施。外国ルーツ青少年への多様な支援を始めて丸２年となるため、それぞれの事業担当者の報告を受けながら、これまでの活動を振り返り、より良い支援に向けて、共に話し合う機会とした。全国から団体、自治体、大学、学校関係者や支援者、教師、学生など様々な立場の方たちの参加があり、アンケートでは、外国ルーツの子どもたちが直面している課題をよく知ることができた、地域と連携して支援を広く展開していることに感銘を受けた、勇気をもらった、今後自分たちの活動に生かしていきたい、などの感想が寄せられた。実施団体としても、キャリア支援という大きな柱を核にして、これまで行ってきた複数のプロジェクトのつながりが明確になってきたと実感し、今後さらに相互に作用し合いながら事業を進めていきたい。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
・先輩・後輩の交流会、高校生・若者の日本語教室など対面で実施する事業は、募集人数を少なくし、広報も控えめにした。会場・教室では基本的な感染対策、部屋の人数制限、消毒・検温の実施、情報共有などを徹底して行った。 ・学習の中でもコロナ対応について、やさしい日本語、母語通訳を通じて、生徒たち自身が感染対策意識を身に着けられるよう指導した。 ・１回目のワクチン接種は、保護者自身が言葉の壁もあり、きちんとした知識を持たないケースも多く、また、なかなかワクチン接種予約が取れないケースもあったため、接種予約についても、相談支援を実施した。 ・キャリア相談会は、コロナ禍のため、計画通りに対面相談会の運営をすることがかなり大変で、人数制限、申し込み制を徹底した。

② 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　☑広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） ・2022 年 2 月 22 日掲載　朝日新聞デジタル「すべての子どもたちに未来の希望を『多文化共生社会を目指す教育支援』とは一住友商事「100SEED」の挑戦 Vol.3」 2.広報制作物等 ・印刷物『外国につながる若者の日本語作文』2022 年 3 月 31 日発行／300 部／データは団体サイトから無料ダウンロード可能 ・印刷物：継承ポルトガル語教材・教師用指導書 『継承ポルトガル語教材―初級』2022 年 3 月 31 日発行／500 部 『継承ポルトガル語教材―中級』2022 年 3 月 31 日発行／500 部 『継承ポルトガル語教材―教師用指導書』2022 年 3 月 31 日発行／300 部 ・「JLPT オンライン日本語教室チラシ」（デジタル：以下同） ・「ルーツの言葉＆文化を学ぶ教室（ポルトガル語・中国語）チラシ」 ・「青少年のための心理カウンセリングチラシ」 ・「外国につながる高校生・若者キャリア支援相談会チラシ」 ・「多文化交流オンラインお茶会チラシ」 3.報告書等 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） ・2021 年 8 月 29 日(日)「心理領域セミナー～外国につながる支援の必要な子どもへのサポートについて」 概要：様々な支援活動に携わる団体からの報告や日本の制度やその仕組みと内容についての話を通して、情報交換を行い、相互理解と今後に向けての連携により、支援を必要としている外国ルーツの子どもへのサポートを拡充することを目的とする。 参加人数：約 80 名 開催形式：オンライン ・2021 年 10 月 30 日(土)「外国につながる高校生・若者キャリア相談会」（当初 8 月 28 日の実施を予定計画していたが、コロナ感染症拡大のため、延期実施） 概要：高校卒業後に就職希望、あるいは就職につながる職業訓練校等を目指す外国ルーツの高校生・若者を対象とした進路相談会。先輩

の体験談等を聞き、受け入れ関係団体の説明、個別相談を通して、若者たちが自身のキャリアを主体的に考えるきっかけづくりとする。
参加人数：55 名（高校生 21、引率 4、団体 14、先輩（兼通訳）4、通訳 2 、スタッフ 10）
場所：鶴見駅前ホール

・2022 年 2 月 20 日(日)「多文化共生・共育ネットワーク」
概要：外国ルーツ青少年未来創造事業により、多様な支援を始めて 2 年。各事業担当者の活動報告を通して、これまでの活動を振り返り、より良い支援に向けて、共に話し合う機会とする。
参加人数：約 60 人
開催形式：オンライン

・2022 年 3 月 6 日(日) 「オンライン多文化お茶会」
概要：全国各地から団体職員、小学校教師、大学教授、国際交流センター通訳、外国人支援センター窓口など様々な職業の外国人＆日本人市民が参加し、多様な背景を持つ多様な人たちが共に生きる社会について意見交換を行った。
参加人数：日本人・外国人それぞれ 10 人程度
開催形式：オンライン

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑完了　　☐整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☐全て公開した　☐一部未公開　☑未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：団体サイトのリニューアル作業中のため。2022 年 5 月公開予定。
3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☐はい　　☐いいえ　　＊変更ありません。 →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。

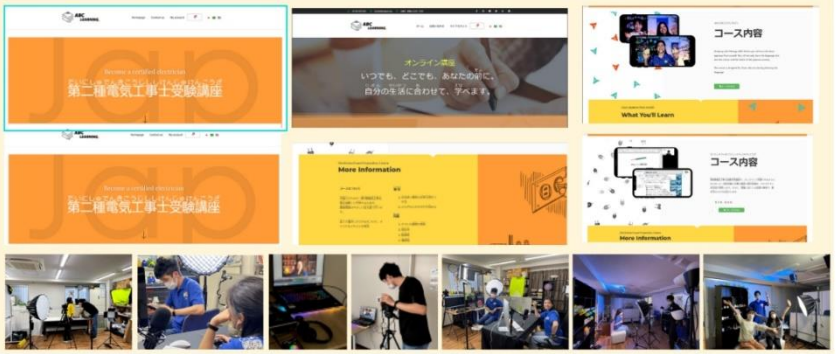
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☐はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：委員会は設置していないが、コンプライアンス遵守は、社会的信頼につながる重要なものとして、常に違反事例の発生に気を配っている。
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

先輩・後輩の交流企画
PROJETO INCENTIVO
外国ルーツの先輩&後輩の交流会

在日ブラジル総領事館による宣伝
AULAS ONLINE PREPARATÓRIAS PARA O JLPT
Consulado-Geral do Brasil em Tóquio
ABC JAPAN: CURSOS PREPARATÓRIOS PARA O JLPT

ルーツを持つ国の言語や文化を学ぶ教室
oficina de PLH DA ABC
ABCの継承ポルトガル語教室
在日ブラジル総領事館（東京、名古屋、浜松）と面会。
ポルトガル語・初級
中国語・初級
ポルトガル語・中級


第二種電気工事士受験講座
コース内容
More Information

若者育成
地域の清掃活動に
移民２世の若者たちが
参加しました
100SEED

10月30日
外国につながる高校生・若者キャリア支援相談会

外国につながる若者の日本語作文
継承ポルトガル語教材
日本語作文
にほんごさくぶん
NPO法人ABCジャパン
Feras do Livro do Pro
Feras do PLH
Onça pintada

外国につながる支援の必要な子どもへのサポートについての経験談
8月29日
CINGAとは

ONLINE
Chanpuru Tea Party
AMIGOS

オンライン（zoom）
2月20日（日）
13:30〜15:30
外国ルーツ青少年のキャリア形成に向けた未来創造事業
高校生・若者対象のキャリア形成のための日本語教室
ポルトガル語を学ぶ意味は？
PLH
ポルトガル語を話す意味はない！
「オンライン日本語教室」N2・N3・N4
ABC JAPAN
外国につながる高校生・若者
キャリア支援相談
報告
社会福祉法人青丘社　原千代子
青少年の先輩・後輩の交流企画

NPO法人ABCジャパン

OFICINA DE PLH DA ABC
CURSO PREPARATÓRIO PARA O JLPT N2
AULAS ONLINE
CURSO PREPARATÓRIO PARA O JLPT N3
CURSO PREPARATÓRIO PARA O JLPT N4
CURSO DE JAPONÊS
EXPANDA AS SUAS OPORTUNIDADES!
Curso online
Professores licenciados
Gratuito
CURSO PREPARATÓRIO GRATUITO
AULAS ONLINE PREPARATÓRIAS PARA O JLPT
JLTP N2

CURSO PREPARATÓRIO PARA O JLPT N4
PARA O JLPT N3
CURSO PREPARATÓRIO PARA O JLPT N2
PROJETO INCENTIVO
CURSO PREPARATÓRIO PARA O JLPT N3
Em breve Novidades!!
CURSO PREPARATÓRIO PARA O JLPT N4
CURSO PREPARATÓRIO PARA O JLPT N3
CURSO PREPARATÓRIO PARA O JLPT N2
CURSO PREPARATÓRIO PARA O JLPT N4
RESGATANDO AS RAÍZES
ブラジル ポルトガル語教室
体験レッスン 60分無料!
Champuru Tea Party
E aí produção!
青少年のための心理カウンセリング
LANÇAMENTO! LIVRO DIDÁTICO DE PLH
3/2022